

株主メモ	
事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
単元株式数	100株
株主名簿管理人及び 特別口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL. 0120-094-777 (通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所市場第一部
証券コード	4971
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL http://www.mec-co.com/ir/denshi/ (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

【ご注意】

1. 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできません。

2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記の特別口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にでもお取次ぎいたします。

3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



メック株式会社

本社事務所／〒660-0881
兵庫県尼崎市昭和通三丁目95番地 アマックスビル
TEL. 06-6414-3451(代) FAX. 06-6414-3455

URL <http://www.mec-co.com/>

ニュースメール配信サービスのご案内

当社では、ホームページにニュースリリースや新しいコンテンツが掲載された際に、ご登録者のみなさまにそのタイトルとURLを電子メールにてお知らせするサービス(ニュースメール配信サービス)を行っています。

ご希望の株主さまには、こちらのサービスの送信先メールアドレス(携帯電話のメールアドレス不可)を、当社ホームページまたは、ディア・ネットサービスシステム(<http://www.dirnet.jp/>)から、簡単にご登録いただけます(無料)。

アンケートのお願い

当社では、株主のみなさまとのよりよいコミュニケーションを目指し、今後も業績情報の開示の充実に努めてまいりたいと考えております。

つきましては、この株主通信に対するご意見、ご感想をお聞かせいただきたくアンケートにご協力をお願いいたします。

同封のアンケートハガキにご記入のうえ、ご投函ください。

今後とも、ご指導ご鞭撻何卒よろしくお願い申し上げます。

ホームページのご紹介

当社の企業情報やIR情報をホームページに掲載しています。

また株主通信のバックナンバーも掲載しておりますので、是非ご覧ください。



トップページ
<http://www.mec-co.com/>



IRトップページ
<http://www.mec-co.com/ir/>

表紙の設備について

XPS(X-ray Photoelectron Spectroscopy)X線光電子分光装置

X線を物質表面に照射し、表面から数ナノメートルの物質の構成元素や化学結合状態を分析する装置。

当社では、金属表面の酸化状態や汚染物質、吸着物質の分析に活用しています。また、Ar(アルゴン)スパッタを併用し、深さ方向の元素分析を行っています。



メック株式会社

証券コード：4971

第 4 3 期
株 主 通 信

平成23年4月1日から平成24年3月31日まで

- P1 株主のみなさまへ
- P4 事業レポート
- P5 連結財務諸表
- P9 会社概要
- P10 株式の状況
- P11 株主メモ

Creating Surface Possibilities





代表取締役社長 前田 和夫

一歩一歩、着実に前進するために——新製品を中心に拡販を図りつつ、競争力と収益力の強化に努めます。

株主のみなさまにおかれましては、ますますご清栄のことと拝察申し上げます。平素は当社に対し格別のご高配を賜りまして、厚く御礼申し上げます。

当期は、東日本大震災およびタイで発生した洪水の影響、欧州の金融・財政問題による金融不安とそれに伴う円高長期化のリスク増加等、エレクトロニクス業界および当社を取り巻く事業環境は非常に厳しいものがありました。

このような環境のもと、当社では電子基板市場で継続して先端基板向け・汎用基板向けに新規薬品開発を着実に進め、とりわけ需要が拡大しているスマートフォンやタブレットPC等に搭載するHDI(High Density Interconnect)基板の“量産用新プロセス”において一定の成果を上げてまいりました。また次代に向けた取り組みとして、接着剤を使用することなく金属と樹脂とを一体成形

する「AMALPHA / アマルファ」の新技術分野におきましても、ビジネスモデル確立に向けて一歩前進し、近く具体的な成果を見込んでおります。

今後の重点課題としましては、

- グローバル展開のための体制強化
- 新製品の開発力向上のための体制強化
- トータルな品質保証体制の強化、EICC (Electric Industry Code of Conduct：電子業界行動規範) への対応
- 電子基板市場において「川上」から「川下」まで当社技術の浸透を図る
- 電子基板以外の市場において、コア技術の新事業への展開を図る

これらの取り組みを進め、競争力と収益力の強化に努めてまいります。

株主のみなさまには、なお一層のご指導ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

第43期業績および今後の事業方針についてご報告申し上げます。

Q 当期概況と決算における数値について
A 世界的な景気停滞やタイ洪水の影響で減収減益となりました。

当連結会計年度における世界経済は、ユーロ圏の金融・財政問題による世界的な景気の停滞等により依然として先行きの不透明感を払拭できない状況にありました。国内におきましては、東日本大震災の影響から生産や輸出が持ち直し始めたものの、タイで発生した洪水の影響、世界経済の減速や長引く円高、原油価格高騰等もあり、本格的な景気回復基調には至らず、景気の先行きが不透明な状況のまま推移いたしました。

エレクトロニクス業界では、スマートフォンやタブレットPC等の販売が好調に推移したものの、薄型テレビやPCの販売が厳しい状況となり、全般的に力強い需要はみられませんでした。

電子基板業界では、高密度電子基板を含め全般的に低調となり、エレクトロニクス業界と同様に鮮明な回復傾向には至りませんでした。また引き続き中国や東南アジアへの生産移管と日本国内の空洞化が進行いたしました。

当社グループは東アジアを中心とする海外向けの高密度電子基板用薬品の販売と技術サポートに注力いたしました。新製品開発に関しては、当連結会計年度に11品目の販売を開始いたし

ました。また、コスト抑制や業務効率化など経営体質の改善についても継続的に推進いたしました。

このように取り組んでまいりましたが、当連結会計年度の売上高は62億86百万円(前年同期比10.8%減)と減収、営業利益は7億33百万円(前年同期比20.3%減)、経常利益は6億86百万円(前年同期比21.7%減)となりました。また、保有土地における減損損失を57百万円計上したこと、移転価格税制に基づく更正処分による追徴税額等を2億84百万円計上したこと等により、当期純利益は58百万円(前年同期比56.8%減)と大幅な減益になりました。

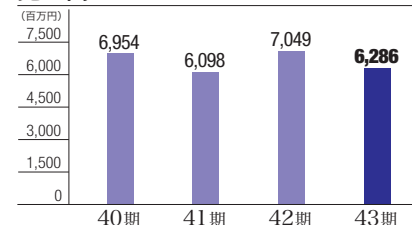
Q 製品・地域セグメント別の販売動向と今後の方針は？
A 薬品では減収となりましたが、スマートフォンや高周波基板向けが好調。今後は台湾・華東の技術サポート力の強化に注力します。

当社グループの品目別売上構成比(連結)のうち、「薬品」の売上高は、56億32百万円(前年同期比9.4%減)となり、売上高全体に占める割合は89.6%(前年同期比1.4%増)となりました。このうち超粗化剤CZシリーズの売上は31億44百万円(前年同期比6.6%減)で、薬品売上高に占める割合は55.8%(前年同期比1.7%増)となりました。

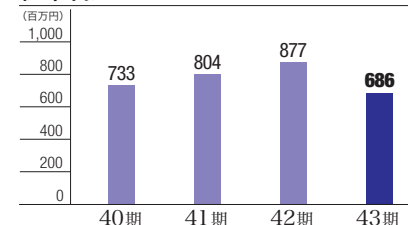
CZシリーズにつきましては、PCに搭載されるパッケージ向けは減少したものの、スマートフォン向け用途で採用が進みました。

連結財務ハイライト

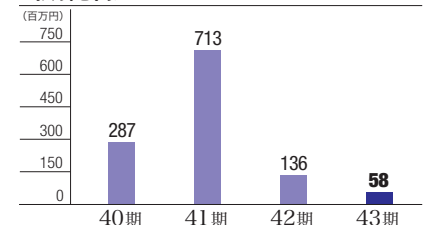
売上高



経常利益



当期純利益



免責事項：本報告書に記載している将来に関する予想については、現在入手可能な情報から得られた当社の経営者の判断に基づいています。実際の業績は、さまざまな要因の変化により、異なる場合があることをご承知おください。

またスマートフォンやタブレットPC向け等積層前処理剤Vボンドにおいて一定の成果があったほか、高周波基板向け薬剤の評価が進んでおります。一日も早い拡販に向け、注力してまいります。

地域別売上高（連結）に占める海外売上高比率は47.1％（前年同期比3.5％増）となりました。当社グループといたしましては、台湾、華東地区を重要市場と考え、これら市場に向けて引き続き競争力ある薬品の開発と販売を強化するとともに、統括役員の配置、台湾・華東の一元的マーケティング、技術サポート力の強化に注力する方針です。また電子基板生産拠点として近年重要度を増しているマレーシアやベトナムでの市場深耕も視野に入れて事業を進めてまいります。

Q 研究開発の成果と次期見通しは？

A 新技術分野でのビジネスモデル確立に向けて着実な歩み。新製品の開発力向上のための体制強化を進めてまいります。

研究開発につきましては、引き続き電子基板処理工程での効率化と幅広いニーズに応じた製品展開を進めてまいりました。またこれまで培ってきた銅表面処理技術をベースに電子基板以外の市場に向けて開発に取り組んできました、金属・樹脂一体成形用の新技術「アマルファ」については、自動車関連の電気制御系デバイスや二次電池関連市場などでのビジネスモデル

確立に向けて具体的な取り組みを進めています。

今後とも新製品の開発力向上のための体制強化を進めるとともに、新しい価値創造に向けた投資を積極的に行ってまいります。

次期の見通しにつきましては、企業収益の改善により緩やかな回復が見込まれますが、ユーロ圏の金融・財政問題や為替の影響等、予断を許さない状況が続くものと思われます。電子基板業界は平成24年度後半より、景気回復、サプライチェーンの修復による増産を見込んでおり、当社グループにおきましても、増収増益を見込んでおります。

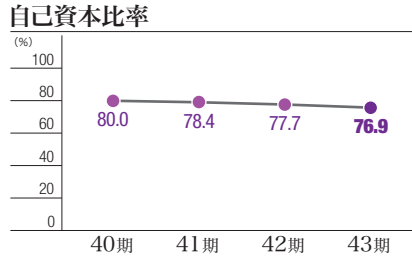
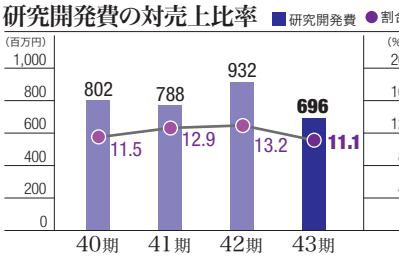
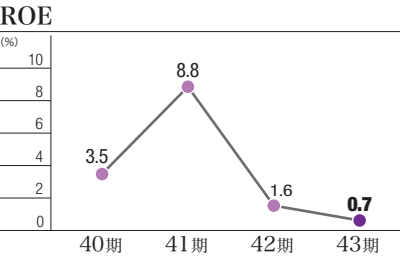
Q 当期・次期の配当政策について

A 当期配当は1株当たり年間8円とさせていただきます。

配当金につきましては、安定配当の考え方を維持しつつ、期間利益の反映を図る所存です。当期配当につきましては、1株当たり期末配当金を4円とし、実施済みの中間配当金4円と合わせて年間8円となります。

次期配当につきましては、当期同様に1株当たり中間配当金4円、期末配当金4円の年間8円を予定しております。

代表取締役社長 前田 和夫



事業レポート

「第2回 クルマの軽量化技術展」でアマルファが注目されました。



平成24年1月18～20日、東京ビッグサイトで開催された「第2回クルマの軽量化技術展」に出展し、金属・樹脂一体成形用の接合技術「アマルファ」を中心に紹介しました。会期中延べ1,200名を超える方々にご来場いただき、強い関心をお持ちいただきました。当期は拡販に努めたものの、具体的な成果には至りませんでした。引き続き拡販に努めます。

当社の独創技術「アマルファ」とは

当社独自の金属表面処理技術「アマルファ」は、金属の表面を化学処理することで、樹脂との接合に最適な表面を形成し、接着剤を使わずに金属と樹脂との強力な接合を可能にします。自動車部品はもとより自動車本体ならびに電子機器の軽量化用途での採用が期待されています。

接合面



グループを挙げて資源・エネルギーの節約と地球環境保護に取り組んでいます。

当社では、平成23年夏、経済産業省からの電力15％節電要請に対し、東京営業所、長岡工場（新潟県）にて節電プロジェクトを立ち上げ、積極的に取り組みました。その結果、前年対比30％以上の節電を達成し、経済産業省より「節電達成証」をいただきました。また、節電対象区域ではない、西宮工場（兵庫県）において



も同様に節電に努め、約30％の節電を達成いたしました。

今後も引き続き節電対策に努め、全社で環境に配慮した事業活動で社会に貢献してまいります。



植樹活動「メックの森づくり」

メックでは、水を育む森の造成と地域への貢献を目的に、平成20年10月より新潟県長岡市で「メックの森づくり」の取り組みを始めました。森を育てることにより、水源の保護や二酸化炭素の吸収に役立てようと活動しています。平成23年度より、本社・研究所のある兵庫県尼崎市でも森づくりにむけ、苗木を育てることから取り組みを始めました。

新潟県長岡市

兵庫県尼崎市



連結財務諸表

連結貸借対照表(要約) (単位:千円)

	前期 平成23年3月31日現在	当期 平成24年3月31日現在
(資産の部)		
流動資産	5,383,688	5,090,776
現金及び預金	2,873,862	2,827,517
1 受取手形及び売掛金	1,907,656	1,681,216
商品及び製品	218,376	204,056
仕掛品	50,034	28,286
原材料及び貯蔵品	194,961	201,777
繰延税金資産	114,406	97,346
その他	43,046	59,848
貸倒引当金	△ 18,656	△ 9,272
固定資産	5,137,724	4,961,910
有形固定資産	4,561,748	4,464,518
建物及び構築物(純額)	1,252,738	1,238,089
機械装置及び運搬具(純額)	317,946	358,482
工具、器具及び備品(純額)	126,185	114,152
2 土地	2,815,259	2,723,504
建設仮勘定	49,618	30,289
3 無形固定資産	37,433	47,167
投資その他の資産	538,543	450,224
4 投資有価証券	422,246	352,697
繰延税金資産	—	1,193
その他	120,214	116,778
貸倒引当金	△ 3,918	△ 20,444
資産合計	10,521,412	10,052,686

- Point 1 受取手形及び売掛金:主に日本の売上減少によるもの。
- Point 2 土地:減損損失計上(日本)による減少、および海外子会社の為替換算差額による減少。
- Point 3 無形固定資産:生産用システムなどソフトウェアの増加によるもの。
- Point 4 投資有価証券:保有株式の時価下落による減少。

(単位:千円)

	前期 平成23年3月31日現在	当期 平成24年3月31日現在
(負債の部)		
流動負債	1,770,753	1,758,074
支払手形及び買掛金	583,172	543,005
短期借入金	480,000	480,000
5 未払金	204,098	302,762
未払費用	44,037	44,743
未払法人税等	122,070	105,186
繰延税金負債	—	1,354
賞与引当金	151,000	131,525
役員賞与引当金	—	7,200
6 その他	186,374	142,296
固定負債	573,749	568,337
繰延税金負債	368,707	363,566
退職給付引当金	99,137	108,800
その他	105,904	95,971
負債合計	2,344,502	2,326,412
(純資産の部)		
株主資本	8,821,449	8,519,134
資本金	594,142	594,142
資本剰余金	446,358	446,358
7 利益剰余金	7,780,948	7,478,645
自己株式	—	△ 12
その他の包括利益累計額	△ 644,539	△ 792,859
8 その他有価証券評価差額金	70,517	51,574
9 為替換算調整勘定	△ 715,057	△ 844,434
純資産合計	8,176,910	7,726,274
負債純資産合計	10,521,412	10,052,686

- Point 5 未払金:移転価格事前確認(APA)対策費用および「設備関係未払金」などの増加。
- Point 6 その他:主に日本単体における「設備関係支払手形」の減少。
- Point 7 利益剰余金:当期純利益による増加(58百万円)、配当による減少(△361百万円)。
- Point 8 その他有価証券評価差額金:株式時価評価額下落による減少。
- Point 9 為替換算調整勘定:海外子会社の為替換算レートの差によるもの。

連結損益計算書(要約) (単位:千円)

	前期 平成22年4月1日から 平成23年3月31日まで	当期 平成23年4月1日から 平成24年3月31日まで
10 売上高	7,049,791	6,286,918
11 売上原価	2,945,419	2,443,223
12 売上総利益	4,104,371	3,843,695
13 販売費及び一般管理費	3,184,902	3,110,462
14 営業利益	919,468	733,233
営業外収益	59,968	43,916
受取利息	14,514	21,011
受取配当金	7,881	8,831
投資有価証券売却益	18,149	—
その他	19,422	14,072
営業外費用	102,138	90,503
支払利息	4,912	3,707
貸倒引当金繰入額	—	15,100
15 投資有価証券評価損	54,449	41,328
為替差損	32,871	23,791
その他	9,905	6,577
16 経常利益	877,298	686,645
特別利益	3,254	4,949
固定資産売却益	1,705	2,204
17 保険解約返戻金	1,549	2,744
特別損失	536,032	61,771
固定資産売却損	2,067	474
固定資産除却損	13,575	4,296
減損損失	517,820	57,000
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	2,568	—
税金等調整前当期純利益	344,520	629,823
法人税、住民税及び事業税	234,026	254,774
18 法人税等の更正、決定等による納付税額又は還付税額	—	284,663
法人税等調整額	△ 26,077	31,408
法人税等合計	207,949	570,847
少数株主損益調整前当期純利益	136,571	58,976
19 当期純利益	136,571	58,976

連結包括利益計算書 (単位:千円)

	前期 平成22年4月1日から 平成23年3月31日まで	当期 平成23年4月1日から 平成24年3月31日まで
少数株主損益調整前当期純利益	136,571	58,976
その他の包括利益	△ 228,088	△ 148,320
その他有価証券評価差額金	△ 14,340	△ 18,943
為替換算調整勘定	△ 213,748	△ 129,376
包括利益	△ 91,517	△ 89,343
親会社株主に係る包括利益	△ 91,517	△ 89,343
少数株主に係る包括利益	—	—

- Point 10 売上高:前期に比べ762百万円(10.8%)の減収。薬品売上については5,632百万円となり前期よりも583百万円(9.4%)減少、資材売上は479百万円となり、前期よりも158百万円(24.9%)減少。
- Point 11 売上原価:売上原価率が2.9%減少。
- Point 12 売上総利益:前期に比べ260百万円(6.4%)の減益。売上総利益率が上昇(2.9%)しているのは、薬品の現地生産化によるコストダウンによるもの。
- Point 13 販売費及び一般管理費:前期に比べ74百万円(2.3%)減少。主に人件費、運賃などの減少。
- Point 14 営業利益:前期に比べ186百万円(20.3%)の減益。
- Point 15 投資有価証券評価損:保有株式の時価下落による評価損計上。
- Point 16 経常利益:前期に比べ190百万円(21.7%)の減益。
- Point 17 保険解約返戻金:保険満期によるもの。
- Point 18 法人税等の更正、決定等による納付税額又は還付税額:移転価格税制に係る更正通知等の受領によるもの。
- Point 19 当期純利益:前期に比べ77百万円の減益。

連結株主資本等変動計算書			(単位：千円)	
	前期 平成22年4月1日から 平成23年3月31日まで	当期 平成23年4月1日から 平成24年3月31日まで		
株主資本				
資本金				
当期首残高	594,142	594,142		
当期変動額				
当期変動額合計	—	—		
当期末残高	594,142	594,142		
資本剰余金				
当期首残高	446,358	446,358		
当期変動額				
当期変動額合計	—	—		
当期末残高	446,358	446,358		
利益剰余金				
当期首残高	7,897,763	7,780,948		
当期変動額				
剰余金の配当	△ 160,569	△ 361,279		
当期純利益	136,571	58,976		
自己株式の消却	△ 92,816	—		
当期変動額合計	△ 116,814	△ 302,303		
当期末残高	7,780,948	7,478,645		
自己株式				
当期首残高	△ 92,740	—		
当期変動額				
自己株式の取得	△ 75	△ 12		
自己株式の消却	92,816	—		
当期変動額合計	92,740	△ 12		
当期末残高	—	△ 12		
株主資本合計				
当期首残高	8,845,523	8,821,449		
当期変動額				
剰余金の配当	△ 160,569	△ 361,279		
当期純利益	136,571	58,976		
自己株式の取得	△ 75	△ 12		
当期変動額合計	△ 24,073	△ 302,315		
当期末残高	8,821,449	8,519,134		

			(単位：千円)	
	前期 平成22年4月1日から 平成23年3月31日まで	当期 平成23年4月1日から 平成24年3月31日まで		
その他の包括利益累計額				
その他の有価証券評価差額金				
当期首残高	84,858	70,517		
当期変動額				
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	△ 14,340	△ 18,943		
当期変動額合計	△ 14,340	△ 18,943		
当期末残高	70,517	51,574		
為替換算調整勘定				
当期首残高	△ 501,309	△ 715,057		
当期変動額				
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	△ 213,748	△ 129,376		
当期変動額合計	△ 213,748	△ 129,376		
当期末残高	△ 715,057	△ 844,434		
その他の包括利益累計額合計				
当期首残高	△ 416,450	△ 644,539		
当期変動額				
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	△ 228,088	△ 148,320		
当期変動額合計	△ 228,088	△ 148,320		
当期末残高	△ 644,539	△ 792,859		
純資産合計				
当期首残高	8,429,072	8,176,910		
当期変動額				
剰余金の配当	△ 160,569	△ 361,279		
当期純利益	136,571	58,976		
自己株式の取得	△ 75	△ 12		
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	△ 228,088	△ 148,320		
当期変動額合計	△ 252,162	△ 450,635		
当期末残高	8,176,910	7,726,274		

連結キャッシュ・フロー計算書			(単位：千円)	
	前期 平成22年4月1日から 平成23年3月31日まで	当期 平成23年4月1日から 平成24年3月31日まで		
20▶ 営業活動によるキャッシュ・フロー	988,857	767,357		
税金等調整前当期純利益	344,520	629,823		
減価償却費	281,088	287,154		
減損損失	517,820	57,000		
貸倒引当金の増減額(△は減少)	11,569	7,427		
賞与引当金の増減額(△は減少)	19,522	△ 19,474		
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	—	7,200		
退職給付引当金の増減額(△は減少)	39,442	9,663		
受取利息及び受取配当金	△ 22,396	29,843		
支払利息	4,912	3,707		
保険解約返戻金	△ 1,549	△ 2,744		
投資有価証券評価損益(△は益)	54,449	41,328		
株式割当益	△ 5,218	—		
売上債権の増減額(△は増加)	14,727	202,040		
たな卸資産の増減額(△は増加)	△ 64,310	24,159		
仕入債務の増減額(△は減少)	△ 16,945	△ 32,098		
その他	38,593	77,009		
小計	1,216,225	1,262,352		
利息及び配当金の受取額	22,451	29,016		
利息の支払額	△ 4,640	△ 2,477		
法人税等の還付額	321	5,447		
法人税等の支払額	△ 245,500	△ 268,709		
法人税等の更正・決定等による納付税額	—	△ 258,270		

Point 20▶ 営業活動によるキャッシュ・フロー：営業活動の結果得られた資金は7億67百万円(前年同期比2億21百万円減)となりました。これは主に税金等調整前当期純利益が6億29百万円あったこと、減価償却費が2億87百万円あったこと、および売上債権の減少が2億2百万円あったことと等により資金の増加に貢献したものの、資金の減少要因として法人税等の更正・決定等による納付税額が2億58百万円、法人税等の支払額が2億68百万円あったこと等により資金の増加が一部相殺されたことによるものであります。

			(単位：千円)	
	前期 平成22年4月1日から 平成23年3月31日まで	当期 平成23年4月1日から 平成24年3月31日まで		
21▶ 投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,886,751	△ 700,305		
定期預金の預入による支出	△ 1,085,129	△ 1,884,765		
定期預金の払戻による収入	1,117,529	1,565,551		
有形固定資産の取得による支出	△ 1,938,294	△ 377,424		
有形固定資産の売却による収入	2,868	2,714		
無形固定資産の取得による支出	—	△ 11,764		
投資有価証券の取得による支出	△ 16,123	△ 10,390		
投資有価証券の売却による収入	30,075	—		
保険積立金の払戻による収入	3,019	5,780		
その他	△ 695	9,991		
22▶ 財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 160,276	△ 359,792		
短期借入金の純増減額(△は減少)	—	290,000		
短期借入れによる収入	480,000	190,000		
短期借入金の返済による支出	△ 480,000	△ 480,000		
自己株式の取得による支出	△ 75	△ 12		
配当金の支払額	△ 160,200	△ 359,780		
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 67,411	△ 38,070		
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△ 1,125,581	△ 330,811		
現金及び現金同等物の期首残高	3,274,222	2,148,640		
現金及び現金同等物の期末残高	2,148,640	1,817,828		

Point 21▶ 投資活動によるキャッシュ・フロー：投資活動の結果使用した資金は7億円(前年同期比11億68百万円減)となりました。これは主に定期預金の預入れが純額で3億19百万円あったこと、および有形固定資産の取得による支出が3億77百万円あったこと等によるものであります。

Point 22▶ 財務活動によるキャッシュ・フロー：財務活動の結果使用した資金は3億59百万円(前年同期比1億99百万円増)となりました。これは主に配当金の支払いが3億59百万円あったこと等によるものであります。

会社概要

会社概要

平成24年3月31日現在

商号	メック株式会社
本社事務所所在地	兵庫県尼崎市昭和通三丁目95番地 アマックスビル
設立年月日	1969年(昭和44年)5月1日
資本金	594,142,400円
事業内容	電子基板製造用薬品の製造販売及び 機械装置、各種資材の製造販売

役 員

平成24年3月31日現在

代表取締役社長	前田 和夫
取締役兼専務執行役員	内野 登一
取締役兼常務執行役員	溝口 芳朗
取締役(社外)	西川 裕史
監査役(常勤)	藤山 正人
監査役(社外)	八田 伸
監査役(社外)	松山 英明

国内事業所

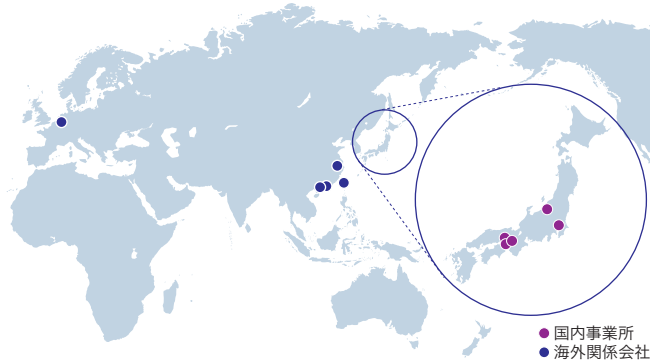
平成24年3月31日現在

本社／大阪営業所
〒660-0881 兵庫県尼崎市昭和通三丁目95番地 アマックスビル TEL. 06-6414-3451(代) FAX. 06-6414-3455
東京営業所
〒190-0003 東京都立川市栄町六丁目1番1号 立飛ビル7号館7階 TEL. 042-538-1080(代) FAX. 042-538-1090
新潟営業所／長岡工場
〒940-2045 新潟県長岡市西陵町221番地36 TEL. 0258-47-2490(代) FAX. 0258-47-2492(営業) 0258-47-2493(生産)
西宮工場
〒663-8142 兵庫県西宮市鳴尾浜二丁目1番19号 TEL. 0798-46-8588(代) FAX. 0798-46-8688
研究所
〒660-0832 兵庫県尼崎市東初島町1番地 TEL. 06-6401-8170(代) FAX. 06-6401-8172

海外拠点

平成24年3月31日現在

MEC TAIWAN COMPANY LTD.
No.3, Ziqiang 6th Rd., Zhongli City, Taoyuan County 320, Taiwan (R.O.C) TEL. 886-3-434-3549 FAX. 886-3-434-5047
MEC EUROPE N.V.
Kaleweg 24-26, B-9030 Gent, Belgium TEL. 32-9-216-7272 FAX. 32-9-216-7270
MEC (HONG KONG) LTD.
No.8, 12/F., Tower 3 China Hong Kong City, 33 Canton Road, Tsimshatsui, Kowloon, Hong Kong TEL. 852-2690-2255 FAX. 852-2690-2262
MEC FINE CHEMICAL (ZHUHAI) LTD.
530 An Ji East Road, Sanzao Town, Jinwan Qu, Zhuhai City, Guang Dong 519040, China TEL. 86-756-762-2328 FAX. 86-756-762-2628
MEC CHINA SPECIALTY PRODUCTS (SUZHOU) CO., LTD.
31 Linjiang Road, Suzhou Industrial Park, Jiangsu 215121, China TEL. 86-512-6745-1990 FAX. 86-512-6745-1993



株式の状況

株主状況

平成24年3月31日現在

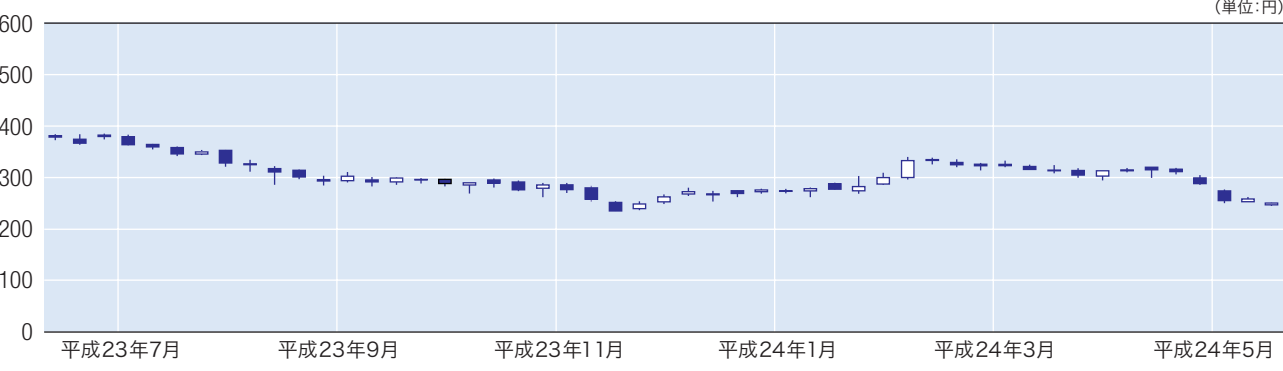
発行済株式総数	20,071,093株
株主数	4,390名

大株主

平成24年3月31日現在

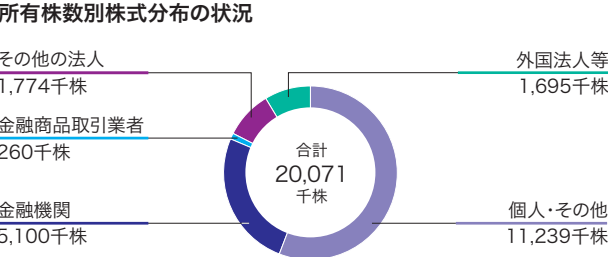
株主名	当社への出資状況	
	所有株数(千株)	持株比率(%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	2,585	12.88
有限会社ケイ・エム・ビジネス	1,199	5.97
前田 耕作	1,005	5.00
前田 和夫	692	3.45
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	674	3.36
野村信託銀行株式会社(投信口)	644	3.20
川邊 豊	602	2.99
小林 義雄	600	2.98
腰高 修	596	2.97
メロンバンクエヌエートリーテークライアントオムニバス	511	2.54

株価の推移

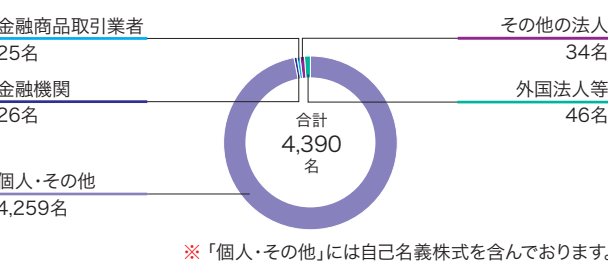


株式分布状況

平成24年3月31日現在



所有者別の株主数



※「個人・その他」には自己名義株式を含んでおります。